

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

平成22年の労働争議は、「総争議」の件数は682件、総参加人員は110,664人となっており、前年に比べ、件数が98件（12.6%）減、総参加人員が4,707人（4.1%）減となった。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は85件、行為参加人員は21,262人となっており、前年に比べ、件数が7件（7.6%）減、行為参加人員が719人（3.5%）増となった。（第1表、第1図）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成17年	708	646,291	129	70,007	27,295	579	576,284
18	662	627,413	111	90,661	38,595	551	536,752
19	636	612,974	156	103,133	54,105	480	509,841
20	657	176,853	112	99,548	48,984	545	77,305
21	780	115,371	92	76,349	20,543	688	39,022
22	682	110,664	85	56,132	21,262	597	54,532
平成22年の 対前年比(%)	△ 12.6	△ 4.1	△ 7.6	△ 26.5	3.5	△ 13.2	39.7

第1図 労働争議の種類別件数の推移

